

天然林において針葉樹と広葉樹が混交している場合の対処方法について

天然林において、針葉樹と広葉樹が混交している場合の対処方法について、以下に定める。

- (ア) モニタリング方法ガイドラインに基づきモニタリングプロットを設定する。事前に小班内を踏査し、混交の度合いが極端に異なる場所への設定は避けることとする。
- (イ) 設定したプロット内の毎木調査を実施し、得られた針葉樹（樹種別）と広葉樹の本数比をもって混交率とし、対象エリアを代表するものとして扱う。
- (ウ) 樹高の測定を実施し、針葉樹および広葉樹それぞれの地位を特定する。樹高データが適用できない収穫表を用いる場合は、添付資料 2-1 にしたがうものとする。その際、単位面積当たりの材積を求めるにあたっては、混交率によって割り戻した値をもって地位の特定を行う。
(例えば、針葉樹 A : 針葉樹 B : 広葉樹 = a : b : c の本数比であった場合、
広葉樹の単位面積当たりの材積は、以下ようになる。
プロット内の広葉樹の材積の和 ÷ プロット内面積 × (a + b + c) / c)